

庁議の概要

開催日 平成 30 年 7 月 23 日（月）

◎項 目

1 各部署等の今週の動きについて【各部署等】

◎内 容

1 各部署等の今週の動きについて【各部署等】

各部署等の今週の動きに関する資料を配付の上、各部署等による概要説明及び協議が行われた。

<主な協議の概要>

○ 復興・復旧及び今後の取り組みについて

（危機管理部）

7月の豪雨災害の関係について、本日現在で孤立4世帯4名、避難者8名という状況にまで回復してきた。引き続き自治体と連携を図りながら対応する。緊急的な事態は収まったと思われるが、今後の台風などの災害により、今回の被災地域へのさらなる被害の発生に危機感を感じている。台風や豪雨の際には、特に被害の大きかった7市町へ早急にリエゾンを派遣することとしている。また、各家庭でも命を守る対策が取れるように、ホームページや新聞広告などを利用した広報を考えている。

併せて、市町村長に対し、本日直接注意喚起をするとともに、7月27日には各市町村の防災担当職員に対しても注意喚起をする。

○ 日本一の健康長寿県構想の推進について

（健康政策部）

7月24日に平成30年度第1回高知県健康づくり推進協議会及び第1回高知県訪問看護推進協議会を開催する。平成30年度の取り組みに関する意見交換を行い、より効果的な取り組み方法等を検討する。

また、7月25日には平成30年度子育て世代包括支援センター連絡調整会議を開催し、優良事例を幅広く展開できるように事例報告を行い、参考にさせていただく。さらに、包括支援センターが設置されていない地域の方にも参加していただき、設置する際の参考にさせていただきたいと考えている。

○ 食品加工の総合支援について

（産業振興推進部）

食品加工の関連で、7月25日にHACCPトップセミナーを開催し、企業の社長など100名以上が参加する予定。県版HACCPの認証企業について、現在、ステージ2と3を合わせて112社を認証しており、年度末までに170社を目標に取り組んでいく。

また、7月27日には、ハウス食品の方に来ていただき、大手メーカーの商品作りの技術を学ぶことを目的とした外商力アップ勉強会を開催する予定であり、現在40名程度の参加希望がある。

○ 上半期の犯罪情勢等について

(警察本部)

県内の本年上半期の刑法犯の認知件数は2,057件で、昨年同時期が約2,300件余であり、ここ数年刑法犯は減少を続けている。刑法犯の約8割程度は窃盗犯罪で構成されており、中でも自転車の窃盗犯罪の減少率が大きく、刑法犯の減少の理由の一つとして挙げられる。全国的な統計を見ても戦後最少を更新するなど、県内のみならず、全国的に犯罪は減っている。

本県の犯罪の検挙率は、例年と大きく変わらない状況である。

また、県内の上半期の振り込め詐欺等の特殊詐欺は9件発生し、被害額は約1千7百万円と減少しているものの、引き続き注意喚起が必要である。

犯罪情勢は全般的に落ち着いているものの、本年は、新幹線での刺殺傷事件や富山県での交番襲撃事件、また子どもを狙った犯罪など全国では凶悪犯罪が発生しており、県内でもこのような凶悪事件が発生しないとも限らない。引き続き防犯対策等を強化するとともに、検挙率向上に向けたさらなる取り組みを強化していく。